

本事業に取り組むエリア(自治体名)	和歌山県和歌山市冬野地区	
本事業の実施主体	幹在宅看護センター管理部	
本事業に参画する団体名	一般社団法人幹・一般社団法人幹らんど	
地域の状況	①人口	36万人
	②地域の特徴	和歌山県南部は台風の多い地区。和歌山市は被害が少ない地方である。
	③災害等の歴史	被害は少ない。南海トラフ地震が予測されている。
	④在宅医療ケア資源と病院等との連携	自施設では病院のNICUから退院してくる子どもたちをみている。病院や療育センターとの関係は良好である。
	⑤その他特記事項	五年前の水害で近隣が被害を受けた。
地域の課題	①これまでの被災経験・コロナ対応で特筆すべきこと	和歌山市は五年前の水害。コロナは和歌山方式で全員入院だったが、第五波からは在宅となりクラスターが続いた。自施設で対応できたがBCPが必要だと思った。
	②連携型BCP・地域BCPとして考えるようになった理由	0歳から100歳以上まで、身体も心も対応しており、これから来る南海トラフに対応する必要がある。
	③わが地域のBCP観点からの課題	医療的ケア児は発電対応。水は全員の課題。発達障がい子どもたちが課題だと思う。
	④その他特記事項	
取り組み内容と目標	今年度のプラン	<p>1) 事業所の避難所利用のための整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の医療的ケア児のほとんどを見ていることもあり、災害時には事業所を避難所として利用することも検討されている。 ・行政からは災害時の拠点になることが求められている。 ・太陽光発電や蓄電器、貯水は整備中である。 <p>2) 連携型BCPの策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所の職員が多いことから、地域で人材再配置ができるよう連携型BCPを検討していく。